

---

# 好きだよ

蹴球少年

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

好きだよ

### 【著者名】

Z3327F

### 【作者名】

蹴球少年

【あらすじ】  
僕と君との生活僕は君に「好きだよ」と囁く君の反応が楽しみだ  
よ

好きだよ。

一言玄いで自分の顔が真っ赤になるのがわかった。

君は恥ずかしがることもなく僕の顔をまっすぐ見ている。

なんでそんなに普通でいられるのかな？

あの頃の君は僕のそんなささいな一言でもこうこう表情を変えていたのにね。

今じゃ慣れちゃったみたいだ。

僕はそんな君の変化が少し寂しいけど、逆に嬉しくもあるよ。

僕は君が恥ずかしがるようなことを考えなきゃいけない。

そんな時間も僕は好きだから。

君が恥ずかしそうにうつむいたり顔を赤べするのを想像しながらいろいろ考えるよ。

それにも君はすぐに寛れちゃうのかもしれないけど、そしたらまた僕は考えるよ。

僕はかなりしつこいやつだから覚悟してたほうがいいよ。

君が呆れるくらいいろんなことをしてあげるから。

さて、そろそろ僕は仕事に行かなくちゃ。

会社でも僕は君のことだけを考えているから。

君の顔を思い浮かべながらね。

仕事が手につかないんじゃないかって？

そんなこと心配しなくていいよ。

お給料はもういいんだからちゃんと働くよ。

それも君のためなんだからクビになんてわれわれにはいられないしね。

じゃあ行ってくるから、先の前にキスしてくれる？

…………んつ。

いつも言つてることだけど、君の唇は薄くて少し冷たくて、でも少し暖かいよね。

そんな君のその唇も、僕は好きだよ。

あれ、これでも恥ずかしくないの？

キスに慣れてたのは知つてるけど、こんなセリフでもダメなんだ。

うーん、今回はずいぶんだね。

ちよつと自信は喪失気味だけど、まあ頑張るよ。

じゃあ、本当に間に合わなくなつかけりゃつかう。

行つてしまま・・・・・?

行かないでほしい?

先週もだつたじゃないか。

あんまり頻繁だと部長に怒りやけりやつよ。

あの薄らハゲのパンダみたいな部長だよ。

何度も話したでしょ?

覚えてないの?

ひどいなあ。

いじわるのつもりだつたらやめてよ。

うん?

そんな人どうでもいいって？

だつて君にそんな瞳で言われたら大事な会議があつたつて会社にな  
んて行けないよ。

今日は一日中一緒に過ごすね。

なにがしたい？

## 借りてきたDVDでも観る？

・・・・・ そっか、こうしてるだけでいいか。

僕は本当に君には甘いんだなあ。

君もそう思つでしょ？

だって、君は僕が一緒にいてほしうつて行つたときに出でつひやつたでしょ？

でも、別に怒つてなんかないよ。

結局はいついて一緒にいてくれてるんだから。

僕が君の襟元にすがりつたら、君はちゃんと止まってくれたんだから。

そのときから君は、笑うことも、泣くことも、話すこと、恥ずかしがることも、瞬きすることも、呼吸することも、心臓を動かすこともしないけど、いつまでも僕と一緒にいてくれるんだからね。

だから僕は満足だよ。

僕は君が好きだよ。

好きだよ。

(後書き)

新しいことをやってみました  
ありがとうございますが、どうでしょうか？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3327f/>

---

好きだよ

2010年10月10日01時35分発行